とだ 議会だより

やさしいまちに、なりたい。

3月定例会

No160号
2009年（平成21年）5月1日

▲ チューリップが満開！緊張してもじょうずに歌えましたね。……北戸田Ｊキッズステーション（保育園）の入園式にて（４月１日）

平成21年度予算決まる…… 2
討論、予算のあらまし ……4
委員会の審査から ……6
総括質問 ……8
そこがききたい（一般質問） ……11
議会日誌、議員研修会報告 ……20

戸田市
発行・戸田市議会
編集・議会だより編集委員会
〒335-8588　戸田市上戸田１丁目18番１号
URL・http://www.city.toda.saitama.jp/
TEL・048-441-1800（代）
FAX・048-433-2212

平成21年
3月定例会
2月23日～3月23日

平成21年度 予算決まる

一般会計 8.5％増 424億8000万円

高齢者・子育て環境の整備など……民生費34％増

平成21年第2回定例会は、2月23日から3月23日までの29日間の会期で開かれ、市長提出議案44件、請願4件を慎重に審議しました。

この3月定例会は、戸田市の21年度予算を審査する議会で、また、一般選挙後、最初の定例会でもあります。総括質問では5人、一般質問では17人と、多くの議員が登壇し、市政のさまざまな課題を取り上げて、活発な論戦を展開しました。

今定例会に市長から提出された案件は、予算34件、条例7件、人事1件、報告2件の計44件です。そのほか議員提出議案2件、委員会提出議案1件、請願4件です。市長提出議案については、本会議で詳細説明を受けた後、3月5日に質疑を行い、総務委員会など4常任委員会で3日間にわたり、詳しく審査しました。

また、市長の施政方針に対する総括質問では、5名の議員が会派を代表して質問し、3月6日から3日間にわたる一般質問では、17名の議員が活発な論戦を展開し、執行部の考え方をただしました。

その後、3月23日の本会議において討論・採決を行い、平成21年度一般会計予算など5件の予算は多数決で、その他の案件はすべて全会一致で可決しました。→討論概要4P参照

主な議案の概要

【一般会計予算】

424億8000万円で、前年度対比8・5％の増となっています。→一般会計の主な歳出、特別会計・水道事業会計予算は4P参照

【条例】

◎児童育成手当条例……父子家庭の父に対し、児童扶養手当に準ずる経済的支援を行うための新規制定です。

◎乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正……名称を「こども医療費条例」に改め、支給対象年齢を、通院は小学校卒業まで、入院は中学校卒業までに引き上げて、小学生以上の自己負担を1割とするものです。

◎奨学資金条例・入学準備金貸付条例の一部改正……いずれも、市内居住2年未満でも貸付できるように改めるとともに、入学準備金の返済据置期間を変更するものです。

◎教育センター条例の一部改正……会議室の使用料を値上げするものです。

◎介護従事者処遇改善臨時特例基金条例……介護報酬の改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため、基金を設置するものです。

◎高齢者総合介護福祉条例の一部改正……第1号被保険者の介護保険料率を変更することに伴う改正です。

【一般会計補正予算】

◎健康福祉の杜第2期整備事業用地購入費5億5448万円

◎財政調整基金積立金6億2453万2000円、都市開発基金積立金4億9672万9000円

◎生活保護扶助費6562万8000円

◎定額給付金事業18億6621万3000円

◎子育て応援特別手当支給事業7452万3000円

▲ こどもの明るい未来に向けて

▲ 2月23日、議案説明に集中（左上は熊木議長）

【人事案件】

◎教育委員会委員
鈴木　晃氏（新任）

【請願】

乳幼児医療費助成制度の拡充に関する請願は、賛成少数で不採択と決定し、他の3件は継続審査となりました。

議員提出議案

意見書2件については、関係機関に送付しました。

○「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書

○インターネット画像サービスにおける個人情報の保護に関する意見書

委員会提出議案

○会議規則の一部改正
全員協議会、各派代表者会議、委員長会議を法律上の議会活動に位置づけるための改正です。

議会だより編集委員会が特別委員会になりました!!

昭和48年から任意の委員会として活動してまいりました議会だより編集委員会が、このたび特別委員会として新たに生まれ変わりました。

心機一転、読みやすく、見ごたえがある紙面づくりに努めてまいります。

なお、委員構成等は、初議会号でお知らせしたとおりで、変更はありません。

委員会の傍聴ができます。気軽にお越し下さい。

平成21年度 予算

ことしはこのように使います

一般会計

（千円単位は切捨て）

歳入（収入源）

- 市税 265億8662万円 62.6％
- 国庫支出金 36億566万円 8.5％
- 諸収入 21億6058万円 5.1％
- 県支出金 13億9043万円 3.3％
- その他 27億2715万円 6.4％
- 市債 32億4530万円 7.6％
- 繰入金 15億6423万円 3.7％
- 地方消費税交付金 12億円 2.8％

歳出（支出先）

- 民生費 174億7730万円 41.1％
- 土木費 70億1410万円 16.5％
- 教育費 53億8953万円 12.7％
- 総務費 46億5187万円 11.0％
- 衛生費 31億678万円 7.3％
- 消防費 16億2162万円 3.8％
- 公債費 19億4234万円 4.6％
- その他 12億7642万円 3.0％

※主な事業は5Pをご覧ください。

討論

今定例会では、議案3件に対して4議員が討論を行いました。その概要は次のとおりです。

平成20年度一般会計補正予算（第7号）

反対　日本共産党　本田　哲　議員

市民のくらしを守る財源に生かすべき

平成20年度は、国民健康保険税の2年連続の値上げが行われ、昨年10月からは、アメリカ発の金融危機で世界が不況の嵐に飲み込まれ、くらしや雇用など市民の生活は、あらゆる面で深刻さが日に日に増しています。今回の補正は、財政調整基金に6億2453万円を積み立てするものとなっていますが、市民のくらしが大変なときには、多額なお金を積み立てるだけでなく、市民のくらしを守る財源として、市民へのくらしや要求実現に生かすべきだったと考えます。

平成20年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

反対　日本共産党　岡嵜　郁子　議員

市民負担は限界。軽減に取り組むべき

平成20年度は2年連続で国民健康保険税の増税が行われ、市民の負担は限界に達しています。

一方、市からの法定外負担分は9千万円減額し、19年度決算と比較すると7億2千万円も市負担を削減したことになります。

国保は、年所得3百万円以下の世帯が7割にも及び、滞納世帯は所得2百万円以下の階層に集中しています。国保が健康保険のセーフティーネットとしての機能を果たすためには、払える水準の保険料であることが必要です。今後増大する景気悪化の影響による経済状況の悪化を考慮し、保険料の負担軽減に取り組むべきです。

平成21年度一般会計予算

反対　日本共産党　本田　哲　議員

市の財政力を市民が要求する事業の充実に

「100年に一度」と言われる経済危機を乗り越えるために、本市の財政力をくらし、福祉、市民要求、事業の充実に生かすことを強く求めるものです。

①財政調整基金の取り崩し額を増やせば、不況対策など市民のくらしを守る取り組みや子ども医療費助成の無料化、さらなる介護保険料の引き下げなど、さまざまな施策の充実も図れたと考えます。

②議会費の海外派遣旅費は、県内の状況を見ても、全議員が対象となっている自治体はありません。議長などの代表派遣で、友好・姉妹都市との交流を行っていくべきと考えます。

③総務費の人権政策事業については、同和問題だけに偏った取り組みを続けずに、様々な観点から幅広く人権問題をしっかりととらえ取り組む事が重要と考えます。

④市民税賦課費の「ASP地方税電子申告受付サービス導入業務」への委託費と収納事務費の「収納サブシステム改修業務」への委託料は、65歳以上の高齢者の市民税を年金から天引きするためのシステム改修委託料です。年金手引きは、国民的議論もなく全く同意が得られたものではないと条例改正にも反対をしているところです。

⑤民生費・児童福祉費の保育園については、待機児は新年度当初から147名にも上り、保育園不足は明らかです。市は、こだま保育園に続き、さらなる公立保育園の廃止・民営化を計画していますが、保育需要にこたえ、安定した保育を市民に提供するためにも、公立保育園廃止路線は見直し、新たな保育園整備を行うよう強く求めます。

平成21年度一般会計予算

賛成　平成会　秋元　良夫　議員

市民福祉の向上に配慮した適正な予算編成

昨年の秋に起こったアメリカ発の金融危機により、世界は同時不況にあると言われています。このような状況下、市の予算を見ると、子育て支援、住民福祉の向上に寄与する事業に新たに取り組む一方で、都市基盤整備等の主要事業や生活保護受給者就労支援事業等、景気後退に伴う雇用・就労対策にも配慮した予算となっており、適正な予算編成であると考えます。

①財政調整基金繰入金については、現在の市民要望に取り組みつつ、今後の新たな行政需要への対応等、中長期的に安定した市民サービスの提供を保証するための基金残高を維持する水準として、適切な予算額であると考えます。

②議会費の海外派遣旅費は、国際交流を通じて市政に反映させることも大事な仕事であり、議会を代表して派遣する経費を計上したものであります。

③総務費・人権政策事業は、同和問題を含め様々な人権問題の研修に参加し、差別が起きない社会を作っていくことが重要であり、そのためには、正しい知識の習得と理解を深める必要があり、これらの職員研修は人権教育・啓発の一環であることから、妥当なものと考えます。

④賦課徴収費のASP地方税電子申告受付サービス導入業務等の委託料は、地方税法の改正に基づき、個人住民税の公的年金受給者からの特別徴収制度が創設され、当然必要となる業務です。

⑤保育園の待機児童対策については、この6年間に450名の定員拡大が図られており、市民ニーズに最大限配慮されていると考えます。

平成21年度予算のあらまし

一般会計

424億8000万円　　前年度比8.5%増

特別会計　※15特別会計の合計額

233億2741万円　　前年度比0.6%減

水道事業会計　前年度比4.6%減

収益的収入	24億6347万円
収益的支出	22億9217万円
資本的収入	7808万円
資本的支出	11億3105万円

▲フラワーセンターで生ゴミとお花を交換

※ 討論……提出された議案等の審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べることを討論と言います。

平成21年度 一般会計予算の主な事業

（千円単位は切捨て）

施策の柱	事業名と金額
安全・安心 ①これで学校施設の耐震化率は約88%に！	① 学校施設耐震補強事業　6億4760万円 ② 消防防災施設整備事業　2億1119万円 ③ 浸水対策事業　1億732万円
環境 ①マジック！ごみが花に	① リサイクル推進事業　1460万円 ② 環境空間整備事業　1億587万円
子育て ②小学校修了まで通院の医療費を軽減	① 戸田駅前さくら草保育園運営事業　1億3134万円 ② こども医療費支給事業　4286万円 ③ 児童育成手当支給事業　540万円 ④ 学童保育室建替・拡充事業（笹目小学校）　4591万円
福祉・保健 ②23年度の開設に向けて整備します	① 地域包括支援センター増設事業　1800万円 ② 健康福祉の杜第2期整備事業　46億1343万円 ③ 通所リハビリ事業　516万円
くらし・産業・雇用 ①工場の新・増設に固定資産税相当額を補助	① 産業立地推進事業　2900万円 ② 介護職員緊急雇用対策事業　3600万円
教育・文化・スポーツ ①笹目東小に調理場を整備	① 学校給食施設整備事業　5億343万円 ② 図書館・郷土博物館開館25周年記念事業　468万円 ③ 文化・スポーツ施設整備事業　1億3107万円
都市基盤 ①安全な歩道・河川へ	① 歩道整備事業（市道4003号線）　9585万円 ② さくら川整備事業　1億5000万円 ③ 新曽土地区画整理事業特別会計事業　29億1796万円
行政運営 ①駅前で住民票を	①（仮称）戸田公園駅前行政センター整備事業　1億8149万円 ② 行政計画策定事業　1820万円

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました

総務常任委員会
文教・建設常任委員会
健康福祉常任委員会
市民生活常任委員会

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果は、3月23日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。
詳しくは5月末に発行予定の会議録をご覧ください。

総務

政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

※各常任委員会の所管部署

施設設備の大規模修繕は適切に

【一般会計予算】

財産管理費では、施設設備管理台帳作成の業務内容について質疑を交わし、既存設備の位置図や平面図、改修の履歴、劣化調査の報告書等をデータベース化することによって、将来かかるであろう大規模修繕等を事前に把握し、どの時期に、どのように財源投下していくかなど、公共施設の設備を統括的に維持管理していきたいとの説明がありました。

企画費では、（仮称）戸田公園駅駅前行政センター建設に係る説明に対し、ターゲットは駅利用者であり、駅からの動線や利便性等を考慮すると、当センターと戸田公園駅をペデストリアンデッキで結び、そこをメインの窓口とし、夜遅くに利用できる開設時間のほうが喜ばれること。また、1階をテナント貸しして、1年間のランニングコストに充てるべきではないかとの意見がありました。

▲戸田公園駅前に行政センターができます

IT推進費では、IT経費の適正化を目的としたシステム調達支援業務の効果について質疑が出され、20年度実績で50件実施し、当初の見積金額の総額が約10億4100万円に対し、精査の結果、約9億7300万円で、約6800万円の経費を削減できた。また、業者や職員への意識づけも図られ、精査金額以上に効果があったと考えるとの説明がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

バリアフリー化で利用者に安心の公園を

【一般会計予算】

土木費・河川総務費のさくら川護岸整備工事では、本市とさいたま市の負担割合等で質疑を交わし、工事の早期完了に向けて、引き続きさいたま市と積極的に交渉するよう意見がありました。

公園費の公園施設整備事業では、公園利用が多い子供や高齢者が安心して過ごせるよう、トイレ等の公園施設のバリアフリー化を早急に進めてほしいとの意見があり、可能な限り対応していきたいとの答弁がありました。

また、環境空間整備事業では、（仮称）里山公園について、市民参加による公園作りは素晴らしいが、公園内の雑木林で、公園とJR高架との間の道路に死角が生じることがないよう、防犯面にも配慮してほしいとの意見がありました。

教育費・学校管理費では、中学校の柔道部創設を希望する市民の声を多く耳にするため、外部指導者を活用するなどして、創設を検討してほしいとの意見がありました。これに対し、創設を支援したいが、現状では顧問の問題があり、本市だけでは判断できないため、県全体の流れを十分に見ながら検討したいとの答弁がありました。

図書館費では、大型絵本について、読み聞かせサークルで頑張っている市民も多いため、貸し出しはできないかとの意見があり、検討していきたいとの答弁がありました。

◀完成が待ち遠しい（仮称）里山公園

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
医療保健センター

子育て世帯への支援……早期の実施を要望

【児童育成手当条例・乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正】

父子家庭の父に対し、児童扶養手当に準ずる経済的支援を平成22年4月1日から、乳幼児医療費支給の年齢拡大が平成22年1月1日からスタートするためのものであり、早期実現に向けて、できるだけ努力してほしいと要望しました。

乳幼児医療費の支給に関する条例については、中学生の通院も医療費支給の対象とする修正案が出されましたが、償還払いは医療機関との事務処理上の問題があること、本市は子育て世代が多く、財源確保が難しいこと、受益者負担の原則も考えた上での選択であるとの意見があり、修正案は否決され、原案のとおり可決されました。

【一般会計予算】

民生費の高齢者福祉費では、健康長寿入浴事業の浴場の偏在による利用格差、不公平感を解消するために、地域に合ったサービスを選択できる施策を検討してほしいとの要望がありました。

▲子育てしやすい環境の整備にも努めています

衛生費の保健衛生総務費、及び予防費では、新型インフルエンザ対策として、戸田市新型インフルエンザ対策行動計画の早期改定、新たに市民向けマニュアルの作成、職員研修の実施、あわせて、新型インフルエンザ発生直後の初期対応に備えて、防護服等を備蓄するとの答弁がありました。

市民生活

市民生活部
消防本部
水道部

白田の湯……市民利用者を増やす方策を

【一般会計予算】

支所及び出張所費では、美笹支所と西部福祉センターの駐車場が一緒であり、講座によっては、支所への来客者が駐車できない場合がある。方策を検討してもらいたいとの要望がありました。

行政振興費では、地域通貨について検証してはどうか、また、換金性をもっと啓発していく必要があるとの意見、さらに、例えばコミュニティバスに使う等、市の中で使える場面の検討を求める意見がありました。

文化会館の屋上防水改修及び庭園緑化整備工事では、現状の屋上庭園は使い勝手が悪い、貸し出しも含めて、多様なことに使えるように整備してもらいたいとの要望がありました。

市民保養所費では、保養所利用者が増加したにもかかわらず、市民利用者は減少していることについて、市としては、保養所に来ることに付加価値をつけるなど、市民の利用者をふやす方法を考えていくべきであるとの意見、また、現在の指定管理者が他に受託している施設のうち一、二カ所を戸田市民が白田の保養所と同条件で泊まれるように検討してもらいたいとの意見が出されました。

市民農園については、新曽区画整理が完成すると、減ってしまうと思われる。笹目橋の南側の土地、あるいは荒川水循環センターの上部利用についても検討してもらいたいとの要望がありました。

◀利用者はふえている白田の湯

委員会ごとにテーマを追求！

委員会は、議案や請願の審査のほかに、所管の範囲で調査事件を定め、能動的に市政に関する調査活動を行うことができます。

ことしは、常任委員会ごとに具体的な年間の活動テーマを左記のとおり決めました。そして、毎月1回委員会を開催し、今まで以上に掘り下げて、行政に対し意見・政策提案をしていきます。

どうぞ、委員会の活動に熱い視線をお寄せください。

委員会	年間テーマと活動内容
総務	1．自治基本条例について 2．新地方公会計制度について 3．行政ＩＴ化による効率性と経済性について
文教・建設	1．所管する小・中学校などの施設や区画整理事業などの現地視察
健康福祉	1．医療保健福祉計画……福祉の杜建設計画及び医療保健センター等建て替え計画
市民生活	1．低炭素社会と市民生活 2．危険箇所総点検運動

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、２人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、３月４日の本会議において、５人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをただしました。

なお、施政方針の内容は、４月１日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。

▲自由に走り回れて“わんダフル”…４月４日、道満グリーンパークにドッグランがオープン

経済危機に際して市民への安心施策は

平成会　秋元 良夫　議員

◀親子の楽しいひととき…プリムローズにて

議員　百年に一度と言われる世界的な経済危機に際して、市民に安心の気持ちを取り戻すために、いかに取り組むのか。

市長　新年度予算では、子育て家庭支援として、対象年齢を拡大した子ども医療費支給事業の準備や、児童扶養手当と同様の支援を父子家庭に行う児童育成手当支給事業などを実施する。市は、国や県より生活に密着した住民の声を聞くことができるので、積極的に耳を傾け、市政に反映していきたい。

今後の財政運営は

議員　経済情勢悪化による税収減により、予算編成が非常に困難な自治体も出てきている中で、本市の財政運営の現状認識と今後の方向は。

市長　景気影響を受けにくい個人市民税・固定資産税が、市税収入の約８割を占めており、急激な税収減はないと考えるが、福祉関連経費が増加傾向にあり、施設老朽化に伴う更新など、将来にわたり多額の経費が必要となる。行政評価等による事業の見直し、効率的な行政運営、市税収入確保に努め、財政の健全性を堅持していきたい。

高齢社会への対応は

議員　本市で想定される高齢社会の課題整理と準備を着実に進めるべきと考えるが、見解は。

市長　現状の高齢者福祉のあり方では、需要を満たすことや負担、財源に限界が早晩来るのではないかと思われる。新しい地域社会づくりの視点に立って、公私の役割を見直し、地域コミュニティ中心の地域特性に合った新しい仕組みの構築が必要と考える。第４次総合振興計画での重点施策として位置づけていきたい。

新曽土地区画整理事業の早期完了を

志政クラブ　石井 民雄　議員

議員　新曽土地区画整理事業は、当初の予定から大きく遅れている。基盤整備は未来の本市への投資であり、早期完了を目指すべきと考える。

市長　同事業は、本市の未来都市を創り出す大重点事業であるため、可能な限り財源を投じ、できる限り早期竣工を目指し、取り組んでいきたい。

彩湖自然学習センターの活用は

議員　彩湖には昔の面影が残り、数多くの野鳥が生息し、また、当地に飛来し、羽を休める様子も見られる。彩湖周辺の豊かな自然を学習教材として活用する取り組みを。

市長　当センターでは、野鳥・植物・昆虫等を対象とした各種講座の開催、市内の小学４年生を中心に、自然体験のできる学習活動に取り組み、年間１８００人以上の子どもたちが来館している。

野鳥観察会は、毎年６回ほど実施し、周辺ではオオタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウ等50種類余りの野鳥を観察している。

今後も市民の身近な自然観察の場、児童・生徒の自然学習の場として活用できるよう整備していきたい。

債務解消への展望は

議員　平成20年度末の市債残高は、土地開発公社への債務保証額を合わせると、約５００億円が見込まれ、21年度一般会計予算を上回る額となっている。今後の削減計画は。

市長　市税等の歳入状況を注視しつつ、新規起債事業を精査するとともに、世代間負担のバランスを図りながら、財政の健全性を堅持した総合振興計画の具現化と、市民の要望に沿った施策を推進していきたい。

◀自然が残る彩湖の野鳥観察会へぜひ！

本市の将来都市像は

公明党　神谷雄三　議員

◀オアシスのようなまちづくりへ

議員　都市を語るとき、都市は多面体である。市長は戸田市の目指す都市像を一つに絞って語ろうとすれば、それは何か。

市長　平成21年度施政方針では「オアシスのようなまち」とイメージした。首都に隣接し、水と緑にあふれ、生活の拠点として人々が憩う本市は、まさにふさわしいと思う。

高齢者急増への備えは

議員　本市の高齢者数は、05年からの30年間で２・５倍へ急増すると権威ある機関が予測している。若い街とされてきた本市は、高齢者福祉施設やマンパワーが十分ではない。高齢者の絶対数増と高スピードに、どう備えようとしているか。

市長　高齢者福祉を充実させることは、重要課題ととらえている。今後も的確かつ迅速に高齢者福祉の充実を図っていく。

図書館の充実策は

議員　図書館は開館から25周年を迎える。内容の充実はどうか。知の館としてとどまることなく、ビジネス支援など主体的に動く事業も取り組んではどうか。

市長　設立25年を記念し企画展を開催する予定。要望の高い大型絵本の貸し出しなど貸出業務の充実と分室運営の見直しによる昼休みの開室など市民サービスの拡充を行っていく。

東循環バス路線の利便性向上を

議員　ｔｏｃｏ（トコ）バス東循環の見直しに当たって、川口市の大型商業施設利用者も視野に入れてはどうか。

市長　買物・食事は通勤・通院に次ぐ利用状況であり、今後検討したい。

総括質問

財源の確保に努力を

民主・無所属クラブ　高橋 秀樹 議員

◀戸田公園駅前の行政センター建設予定地

議員　競艇のSG競走の誘致に当たって弊害となる一因は、ナイターレースの場外発売を実施しないためのペナルティーと言われている。厳しい財政の中、配分金の確保のために、騒音対策等、地域の諸課題には、市長が先頭に立って努力してもらいたい。

市長　さまざまな環境整備の実績を重ね、周辺地域にご理解が進んでいることから、管理者として近々、周辺対策協議会にナイター場外発売を提案したい。特に交通問題等の負担軽減には意を配し、一日でも早く周辺地域のご理解が得られ、自主財源の確保が可能となるよう、努めていきたい。

小学校にも防犯カメラの設置を

議員　最近、学校のパソコン盗難や校舎のガラスが壊される事件が起きている。今回予算化されている中学校への防犯カメラ設置とともに、小学校にも設置すべきと思うが。

市長　小学校には市単独事業で日中の警備員を配備しているので、中学校への設置を予定した。中学校の設置状況を検証し、小学校も検討したい。

行政センター整備は慎重に

議員　戸田公園駅前行政センターは、市民サービスの向上のため理解はするものの、費用対効果を含めて、その必要性を検討すべきである。

市長　市民満足度調査も踏まえ、必要性が高いと考え、西口の駅前広場内に設置したい。住民票などの発行や諸証明書の申請受付を行うワンストップサービス窓口、図書館サービス等の公共スペースなどを予定しており、運営に当たっては効率的・効果的な手法を取り入れていきたい。

不況から市民のくらしを守るために

日本共産党　望月久晴　議員

議員　大不況の中で市民の暮らしは厳しくなっている。我が党のアンケート調査でも、国保税、介護保険料の引き下げ、こども医療費の中学卒業までの無料化拡大など、切実な声が寄せられている。

市長　健全で安定した運営を図るため、国保運営協議会の審議を経て、議会において議決した税率であり、国保税引き下げは考えていない。介護保険料は、今後追加議案で提案するが、検討の結果、引き下げを予定している。こども医療費では、中学卒業まで無料とする要望書を受け取り、市民の関心の高さを認識しており、これまでの事業対象を拡大し医療費助成を行うことで、医療費負担の軽減と福祉の増進が図られると考えている。

不況対策本部の設置を

議員　市として本格的に不況対策に取り組むため、不況対策本部を設置し、必要な対策を。

◀健康体操で気分もリフレッシュ

市長　必ずしも対策本部の形態をとらずとも、各部の問題意識共有により実効性は担保できる。経済状況の推移を注視しつつ、緊急特別資金の受付期間延長や緊急個別相談会の実施、工事の早期発注などの対策のほか、各部が今可能なことに取り組み、総合的に市内中小企業の支援を図っていく。

臨時職員の処遇改善を

議員　市が雇用している臨時職員などの処遇改善をすべきではないか。

市長　近隣市との均衡を考慮し、職務内容に応じた賃金の改善を進めていく。勤務条件も、本年度から、年次有給休暇を正規職員と同様に、任用開始時から付与するなど、全般的な見直しを行う。

※SG 競走……「Special Grade」の略で、総理大臣杯、笹川賞などを競艇界の「八大競走」という。

▲３月５日の質疑日に窓から飛び込む黄色い歓声につられて、思わずパチリ。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では3月6日から3日間、17人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要です。

そこがききたい

荒川水循環センター上部利用の整備を

「今後も地域の意見を聞き対策を講ずる」

平野　進　議員

議員　①上部利用の現状の整備進捗状況は。②県内同様な施設を管理している担当者間との情報交換は。③今後の具体的な利用についての方策は。④荒川左岸南部流域下水道事業推進協議会特別交付金の扱い内容は。

都市整備部長　①アクセス道路整備工事が今年度3月中に竣工予定。上部の種々の工事は10月ごろに完成予定。その後、芝養生期間を設け、平成22年4月から暫定使用開始の予定。②三郷、桶川、和光の各市との間では、維持管理や今後の利用のあり方について、県を通じ情報の聞き取りや意見交換をしている。③利用について、笹目・美女木地区両協議会の皆様へ情報提供を行って、種々の整備についても地域の皆様のご意見を伺いながら対策を講じていく。④流域下水道に関する相互の連絡調整を図る目的であり、土地及び諸施設の固定資産税に見合う補償として交付されている。維持管理費用の一部に充てる提案は、交付の趣旨を勘案し検討していきたい。

▲着々と進む荒川水循環センター上部工事

レンタサイクルの現状は

議員　彩湖・道満グリーンパーク内で昨年6月から試行されているサイクル事業の成果と課題は。

都市整備部長　利用者から良い評価を得ており、9月以降の本格的実施に向け検討していきたい。

さくら川護岸の雑木整理を

議員　護岸の桜の木以外の雑木を撤去しては。

都市整備部長　今後調査し、撤去できる雑木は実施していく。

一般質問

馬場　栄一郎　議員

Ｈｉｂワクチン接種の公費助成を求める

「供給体制や国の動向で検討する」

議員　髄膜炎は、脳や脊髄を包む髄膜に細菌やウイルスが侵入し、炎症を起こす病気で、原因菌は、Ｈｉｂ菌が6割以上を占めている。年間千人近くの子どもたちが発症し、5％が死亡、20％に手足のまひや発達の遅れ、難聴、てんかんなど後遺症が見られる。Ｈｉｂ髄膜炎に対するＨｉｂワクチンの有効性を本市はどのように認識しているのか。

医療保健センター事務長　世界100ヵ国以上で導入されており、その後はＨｉｂ髄膜炎罹患者が激減した。ＷＨＯが接種の推奨をしていることから、有効性は十分に認識している。

議員　Ｈｉｂワクチンはゼロ歳の時に3回、1年後に1回の計4回の接種が必要で、合わせて3万円ほどかかる。本市として、接種の負担軽減ができないか。

医療保健センター事務長　現在、ワクチンの供給量が不十分であり、市内医療機関では予約制、先着順で接種されている。本市では、安定的な供給の確保状況や国の定期予防接種の動向を見ながら、検討していきたい。

発達障害児の家族に対する負担軽減を

議員　発達障害児が利用できる障害者自立支援法適用施設の負担軽減ができないか。

福祉部長　応益負担から応能負担への変更など、国の動向を踏まえ、検討していきたい。

▲ちょっとがまんしてね……医療保健センターにて

本田　哲　議員

雇用やくらしに対する「総合窓口」の開設を

「庁内で連携し適切な対応に努める」

議員　労働者の大量解雇が続く中、雇用・生活資金・税・生活保護などの相談を1ヵ所でできる総合窓口「ワンストップ窓口」を開設し、くらしと雇用を守る取り組みを強めるべきではないか。

市民生活部長　各関係課、関係機関との連携をさらに密にし、適正な相談が迅速・丁寧、効果的に案内できる体制を強化する。

議員　市の地域職業相談室の利用者が増えている。平日夜間、土曜日も開庁して、職業相談の時間を増やすべきではないか。

▲利用者が増えている地域職業相談室

市民生活部長　市が行っている毎週水曜日の延長窓口にあわせ、求人検索機の使用ができるよう埼玉労働局に要望していく。

後期高齢者医療制度と資格証明書

議員　後期高齢者医療制度が始まり1年が経過しようとしている。この制度では、保険料を1年間納められないと、原則「資格証明書」を発行することになっているが、市内の滞納者の人数は把握しているのか。また、4月以降の対応はどのように考えているのか。

福祉部長　平成21年1月末現在、未納者は289人中223人。4月からの対応については、個々の滞納状況を知るために個別訪問調査を実施する予定である。

議員　資格証明書の発行で無保険状態になるのは、高齢者にとって命と健康にかかわる重大な問題である。十分に個別相談を行っていただき、資格証明書が発行されないよう要望する。

※Hib……ヘモフィルス・インフルエンザｂ型菌。風邪のインフルエンザとは全く別物である。

そこがききたい

細井　幸雄　議員

市民の防災意識の向上をいかに図るか

「啓発活動が有効と認識している」

議員　防災意識の啓発活動は、年間を通して継続的に行うことが大事である。日ごろからの防災意識を喚起する方法の一つとして、市庁舎での常設展示（防災関連情報、大災害の写真、防災用品等）、垂れ幕等による防災標語の常設掲示を提案したい。

総務部長　設置場所の確保を検討したい。

議員　災害時要援護者対策は進んでいるか。

総務部長　関係部署が保有するデータを集約し、災害時要援護者のリストとしてまとめた。リストをさらに整理し、有事の運用体制の検討に着手する。

議員　さきの阪神・淡路大震災では6434人が亡くなられ、過半数が高齢者であった。また、亡くなられた方の1割は室内家具の転倒による圧死と言われている。このことから災害時要援護者、とりわけ高齢者世帯、独居老人に対する「家具転倒防止器具取付助成」の速やかな実施を改めて強く求めたい。

▲阪神・淡路大震災の数々の教訓を忘れずに

開削式の調整池は

議員　洪水対策として市内に地下式調整池が建設され、今後も計画されているが、莫大な建設費と多額の維持管理費を要するので、新設に際して、また既存の公園や球技場については、改修により非常時には調整池となる開削式を提案したい。球技場を例にとれば、グラウンドを1ｍ～2ｍ掘り下げ、壁を階段状にすれば観客スタンドにもなる。

都市整備部長　提案は大変有効なことと認識しているが、都市公園法などの制約がある。これをどうクリアできるか検討していきたい。

岡嵜　郁子　議員

特養ホーム不足・介護人材不足への対応を

「民間で設立の動きがあれば支援したい」

議員　①特別養護老人ホームの待機者は現在2ヵ所で871名。新たな特養ホーム建設に乗り出すときでは。②介護人材不足への対応として職員雇用への支援を。

福祉部長　①施設整備の不足と必要性は認識しており、民間で設立の動きがあれば支援したい。②人材不足については、21年度に限り、新規雇用とヘルパー2級取得に助成を行う。

▲午後の散歩は満開の桜の下で

美女木7丁目の交通安全を

議員　住宅地の通過交通の解決へ、関係機関と協議を。

都市整備部長　現在、通過交通にかかわる荒川河川管理用道路の閉鎖について、国、さいたま市、戸田市の三者で協議中。閉鎖した場合の車の動線がどうなるか検証したいとして、一時的な閉鎖を国に要望している。

市民生活部長　朝の通学時間帯は通行規制をしているが、夕方など他の時間帯の規制はすぐには難しいとの警察の見解だ。今後、関係機関と協議したい。

小規模工事登録制度の活用

議員　零細業者が公共事業を直接受注できる小規模工事登録制度の実績と活用は。

財務部長　19年度の発注実績は、445件、3936万円余と増加している。さらに登録事業者を増やすため、申請機会の増、手続きの簡便化、制度のＰＲを行いたい。

召田　厚 議員

乳がん検診の定員、期間、医療機関の拡大は

「多くの人が受診できる体制を整えていく」

議員　現在、本市では18歳以上の女性を対象に乳がん検診が行われている。今年度は様々な啓発活動により検診希望者が定員を大きく上回ったが、検診期間の延長により希望者全員が受診できた。今後、検診希望者全員が受診できるよう、定員の拡大、検診期間の延長、医療機関の拡大をしてはどうか。

医療保健センター事務長　本市では、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の認定を受けた医療機関で検診を実施している。現在市内の2医療機関で対応しているが、今後、医療機関数の拡大、検診期間の延長も含め、希望者全員が受診できるよう進めていく。

議員　本市を乳がん検診率日本一にしたいと思うが。

市長　啓発も検診も前向きに進めていく。

▲市長を先頭に乳がん撲滅のピンクリボンウオーク

歩行喫煙禁止を徹底できないか

議員　昨年6月より「戸田市ポイ捨て等及び歩行喫煙の禁止」条例が施行されたが、周知徹底が図られていないため、この条例が守られていないように見える。そこで、①この条例への市民の関心度はどうか、②注意や啓発活動は継続して行っているか、現状と今後の事業について伺う。

市民生活部長　①市民からは肯定的な意見も多いが、条例が守られていないという不満の声もあり、今後もマナー向上に向け取り組む。

②環境美化啓発員により市内3駅周辺にて啓発活動を行い、朝の歩行喫煙の調査を行った結果、守られていない状況もあり、より広範囲で啓発を行うとともに、調査研究を行っていく。

一般質問

高橋　秀樹 議員

発注工事の入札制度の改善を

「最低制限価格の引き上げも」

議員　入札制度も談合防止を目的に、一般競争入札の価格引き下げ等によって、地元業者以外の業者が落札するケースが多く、改善が必要と思う。

①指名競争入札を1千万円以下としたことで、地元業者の落札率はどのように変化したか。

②一般競争入札の条件に、戸田市在住者の雇用状況、下請け状況を条件に入れてはどうか。

③最低制限価格を割り出せないよう、設計額に乗ずる率を毎回率を変えたり、設計価格の公表も毎回しないようにしてはどうか。また、企業は適正利潤も必要であり、最低制限価格の引き上げは考えているか。

④市内業者は、災害時の復興に協力も必要で、育成も必要と思うが。

▲年150件を超す電子入札

財務部長　①埼玉県市長会の方針を受け、1千万円以上を一般競争入札とし、1億円までの工事を原則市内業者とすることとした。これにより、市内業者の落札率は86・7％と、3・2％低下した。また、指名競争入札は市内業者優先で行っている。

②下請けについては、一定割合を市内業者に仕事を出す市もあり、応札の条件とすることも検討したい。市内在住者の雇用状況の把握は難しいが、応札の条件に入れることも検討する。

③最低制限価格を推測されることもあり、設計価格の公表については、一部事後公表することも検討したい。乗ずる率は変えるよう工夫したい。最低制限価格についても、事業者の健全経営や、品質確保の観点から引き上げも検討したい。

④市内業者では施工が困難な場合や、受注機会の確保や技術の習得のため、経常建設共同企業体（JV）を活用し、育成に努めている。

望月　久晴 議員

的確な新型インフルエンザ対策を

「具体的な行動指針を策定」

議員　世界各地で鳥インフルエンザが猛威を振るっている。人から人に感染するように変異した場合、世界的な流行になる恐れがあり、日本でも3200万人が感染し、64万人が死亡すると言われているが、本市の対策は。

医療保健センター事務長　国の「新型インフルエンザ対策行動計画」の改定を受けて、本市でも新型インフルエンザ行動計画の改定を行い、具体的行動指針となるガイドラインの策定に着手する。防護服や抗インフルエンザ薬等の備蓄計画を立てていきたい。市民向けには、自己防衛の手引きとして、自己防衛マニュアルを作成し配布する。

▲新型インフルエンザの発生を想定した訓練（佐久保健所提供）

市庁舎の耐震対策は

議員　市庁舎は耐震上問題があるとされているが、どこがどう問題なのか。

財務部長　市庁舎は昭和45年10月に竣工、旧耐震基準の建物である。平成8年に第3次診断を実施した結果、コンクリートの劣化は見られないが、IS値0・6の現行耐震基準に対し、1階～6階は0・28から0・49と耐震性が低く、耐震補強が必要との結果が出た。建て替えは、財政負担が大き過ぎるので、事務に支障なく工事ができる免震工法で進めていきたい。

人権を守った収納行政を

議員　滞納整理は原則1年としているため、かなり無理な分納計画が押し付けられている。憲法で保障された最低生活もできないような分納押し付けは改めるべき。

財務部長　法令にのっとって、個々の実態に即し公平・公正で血の通った滞納整理を行っていきたい。

そこがききたい

鈴木　麗子 議員

母子家庭の養育費確保と医療費窓口負担の軽減を

「養育費相談充実と負担軽減を検討」

議員　平成14年、母子・寡婦福祉法の改正で、「養育費支払い義務」が明記された。①母子家庭の経済基盤を支える養育費の確保へ向けた行政支援を求める。②ひとり親家庭の医療費の窓口負担は、後日償還払いとなるが、継続治療が必要なとき多額の窓口負担は、経済的に困難な状況である。安心の医療制度支援のため、早期の医療費窓口負担の軽減を求めたい。

こども青少年部長　①現在は相談があれば、県母子福祉センターを紹介しているが、今後は養育費の知識や情報に関する講習会等の実施を検討する。②当分の間は償還払いとするが、提案を含め検討したい。

今後のユスリカ対策は

議員　昨年、一部新曽地域でNPO団体のご協力で試行が実現した有用微生物群（EM液）によるユスリカ対策の事後評価と今年の試行も含め、取り組みを伺う。

市民生活部長　ユスリカ対策試行時、付近の住民よりユスリカが減少したとの声を聞いている。今年も試行の希望があれば、連携する。

都市整備部長　ユスリカの発生場所が用水路であることから、公に効果があるとなれば、環境対策として協力する。

▲ＥＭ液によるユスリカ対策の現場

案内表示の充実を

議員　JR戸田駅から戸田市文化会館への道路案内表示の充実を求める。

都市整備部長　区画整理事業地内での恒久的なものはできないが、来訪者等のスムーズな誘導のため、関係機関と協議するなど、案内・誘導サインの設置について検討する。

一般質問

花井　伸子 議員

高齢者の見守り活動は

「関係機関が協力し活動を行う」

◀お年寄りが安心して暮らせるまちづくりに

議員　独居高齢者、高齢者世帯の増加に伴い、高齢者の孤独死が増えている。安心への対応を。

福祉部長　①一人暮らし等の高齢者調査を毎年度①訪問調査の定期実施を。②無料の短いスパンでの安否確認事業の実施と、現在ある高齢者福祉・介護サービスの周知、利用促進を。③引きこもり対策は。定期的に行い、関係各課、地域包括支援センター、民生委員が協力した高齢者の見守り活動を行う。

②高齢者の安否確認を前提とした食事サービス、緊急電話の設置の促進を図る。

③元気な高齢者や市民を巻き込んで、地域の様々な場所に誘導できるようなシステムを構築していく。

防災ラジオの普及を

議員　現在、地域の自主防災会に各20台ずつ貸与している防災ラジオを、希望する市民への貸し出し、購入はできないか。

総務部長　防災行政無線のシステムをアナログからデジタル化への移行を検討している。デジタル化への移行完了後もアナログ式の併用が可能なのか検証し、今後の対応を検討したい。

パブリックコメント制度の検証と改善を

議員　制度導入から6年が経過したが、実績が増えず、減少状況にある。制度を検証し、より目的に沿う制度になるよう改善を行うべきである。

総務部長　制度の利用促進を図ることを念頭に、種々検討を行い、より多くの意見がいただけるよう工夫したい。

酒井　郁郎 議員

公立小中学校の一貫化を進められないか

「現時点では小中学校の連携から」

議員　現在、多くの自治体では小中一貫教育を導入し、落ち着いた教育環境の形成や、生徒の学力向上に成果を上げている。小中一貫は、①小学校と中学校教育の課程を調整し、カリキュラムの無駄を省いて教育の質を上げること、②近年、早熟化している児童の発達に学年の区切り（学制）を合わせること、などを目的とする。本市の検討状況と今後の方向性は。

教育部長　小中一貫教育の意義は、子どもの能力や個性を最大限伸ばし、きめ細かに指導できること、「中一ギャップ」の解消などと認識している。まずは小中学校の連携を一層充実させていくことが現時点では重要である。

さらなる景況悪化を前提に不況対策を

議員　現在、世界的に経済

◀子どもたちのパワーに脱帽

を中心に先が見えない危機的状況にある。社会不安の緩和に向け、市内の企業経営や生活の実態に即した救済措置を講じ、市民の生活を守ることに真剣に取り組んでいかなくてはならない。①今後のさらなる状況悪化時の対応は。②犯罪・自殺防止など、いわゆる不況対策以外の施策は。③本市が不況対策を行っていることは余り知られていない。断固とした姿勢をもっとPRしてはどうか。

市民生活部長　①最も打撃が大きい商工業分野に緊急融資枠の拡大や期間延長を検討していきたい。②現在まで犯罪件数に変化はない。今後の状況を注視し対応したい。③ホームページで「不況対策」のまとめページを作るなど検討していきたい。

医療保健センター事務長　②自殺は、社会経済状況の問題が一要因となることに留意し、今後自殺防止対策に取り組みたい。

そこがききたい

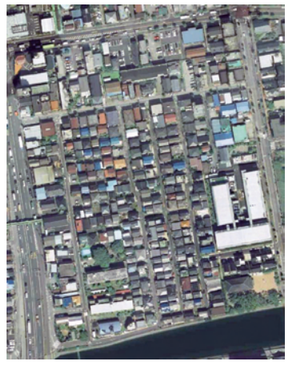
遠藤　英樹 議員

川岸地区防災まちづくりプランの推進を

「10年以内の実施を目指す」

議員　1990年の川岸地区まちづくりを考える会の発足以来、19年の長きにわたって幾つもの計画や提言を川岸地区まちづくり推進協議会は行ってきたが、残念ながら大きな進展はなく現在に至っている。

本市で最初の地区計画がどのような展開を見せるかは、その後に続く新曽第一地区の地区計画や景観づくり推進計画などにも大きな影響を及ぼすと考えるが、現状と今後のスケジュールはどうか。



◀住宅が密集する川岸2丁目地区の様子

都市整備部長　国庫補助事業である住宅市街地総合整備事業を申請しており、これを用いて今後10年、12億円程度の予算規模で進めていく。

議員　災害時の避難路の確保は。

都市整備部長　幾つかの箇所で地権者のご協力がいただけることから、順次進めていきたい。

議員　避難場所となる公園の整備とあわせて、集中豪雨対策のための雨水貯留施設等の設置は。

都市整備部長　公園整備は、具体的な場所の特定までには至っていないが、市内の平均的な公園面積を確保していきたいことから、今後、既存公園の再整備を含めて、約1200平方メートルの新たな広場を確保していく。雨水貯留施設等も検討していく。

議員　電線地中化の可能性はどうか。

都市整備部長　物理的な課題や地中化する効果等を勘案しながら検討する。

議員　密集市街地の改善という意味では、他地区への展開はどう考えるか。

都市整備部長　国による重点密集市街地として公表された本地区をまずは重点的に取り組んでいく。

手塚　静枝 議員

荒川河川管理用道路の廃道を巡る市の回答は

「試験的な通行止めを国に要望」

議員　荒川河川管理用道路の閉鎖を巡って、国より意見を求められていたが、市は総合的に判断した結果、国にどう回答したのか。また、地元町会の意見はどのような意見か。本市の回答に対し、国はどう返答されたか。

都市整備部長　関係する町会に意見を聞いた結果、閉鎖した場合の車両の動線の変化で賛否が分かれ、本市としては閉鎖した場合の車両の動線の変化を検証したいとして、試験的な通行止めを国に対して要望している。国は、さいたま市も含め、三者で協議をしたいとして、協議を進めているが、結論は出ていない。

▲存廃の岐路にある荒川河川管理用道路

消費生活相談窓口の充実を

議員　県や市が取り組む消費生活相談窓口の強化などの事業を集中的に支援する基金が新設される。活性化へ向けた市の取り組みは。また、土日の休日や夜間の相談窓口の開設はできないか。

市民生活部長　現在、事業計画作成中で、その中に相談体制の強化・拡充に向けた取り組みを入れていく。休日・夜間の開設は検討課題としたい。

「家読（うちどく）」の推進を

議員　①「朝読」に続き、今後は家族みんなで家で読書をする「家読」の推進を。②家庭や学校で楽しく本を読むきっかけとなる「セカンドブック」を新1年生にプレゼントしてはどうか。

教育部長　①ブックスタート事業を通して絵本を使った子どもへの語りかけを推奨している。家庭の本の読み聞かせなど行ってほしいとの呼びかけなどを進めていく。②有効な事業の一つと考えられるが、今後の研究課題としたい。

中名生　隆 議員

高齢者ボランティアで理美容サービスを

「関係団体と調整・検討したい」

議員　65歳以上の高齢者で、話し相手、食事の介助、散歩等のボランティア活動をする人に地域通貨「戸田オール」を利用して、美容院や理容等のサービスが受けられる制度はどうか。

福祉部長　元気な高齢者も含めて健康を増進し、要介護状態となることを防ぐ仕組みを地域でつくる必要がある。実現にはポイント制の適用年齢や既存ボランティア団体との調整などを検討していきたい。

河川行政と市民協働は

議員　①さくら川の黄色い水の調査は。②河川課として河川浄化協働事業市民ボランティア支援をすべきではないか。③夏浜橋下流の護岸改修と清掃を行っては。④河川課と各課で重なった水質検査は省略すべきでは。

都市整備部長　①黄色い水の再調査を今後行う。②河川をきれいにしていただく浄化活動は、ありがたく思っている。場所の提供協力もしたい。③夏浜橋下流の改修工事を前倒しで実施できるか検討していきたい。④重なっている部分で可能な場所は省略化を行っていく。

▲ボランティア団体によるＥＭを利用した河川浄化活動

市民生活部長　②県はＥＭ（有用微生物群）について検証方法を確立していない。また、市民活動を支援する上では、お互いの信頼関係が大切と思うので、協定についても検討はしていきたい。

市長　②市内河川をきれいにしている活動を尊重し、深く敬意を表する。いろいろな意見があることから、科学的にどうなのか判断していかなければならない。今後もボランティアとの協働は進めていきたい。

一般質問

三浦　芳一 議員

要援護者情報の共有化、支援体制の確立を急げ

「必要な名簿を早急に策定」

議員　福祉部門だけが要援護者の情報を持っているのでは、現実の災害時に役に立たない。防災・消防部門など庁舎内の関係部局は早急に名簿を共有化すべきと考える。

総務部長　庁内の関係部署を構成員とする災害時要援護者施策検討会議を開催して、情報を整理し、保有するデータの調整や運用方法、個人情報の問題などを検討し、リストとしてまとめた。今後、早急に戸田市災害時要援護者名簿として策定していきたい。

▲いざというときの迅速な対応を……市総合防災訓練

災害時用マンホールトイレの備蓄と整備を

議員　身近な公園が地域の防災拠点になる。特にトイレ対策の推進は。

総務部長　重要課題として考えているので、公園にトイレの設置が可能か都市整備部と協議していきたい。

ペットの防災計画を

議員　ペットの防災計画策定も必要になってきていると考えるが。

総務部長　犬や猫にアレルギーを持つ方や動物が嫌いな方がいる。これらの課題を検証し、先進市を参考にしながら、検討していく。

犬のフン対策強化を

議員　飼い主のマナー啓発等、対策を求める。

市民生活部長　飼い方等の冊子、ふん回収袋などの配布を行っている。今後も市民の方々と協働していける取り組みを調査・研究していきたい。

菅原　文仁 議員

災害に強い都市へ防災条例を制定しては

「他市の状況を検証し調査研究する」

議員　私たちは大震災の教訓で公助だけでなく、自助や共助の大切さを学んだ。自分や家族、地域の力が大きいと思い知った。

しかし現在、本市にはそれらを具現化するルールがない。先進的な自治体では独自に防災条例を制定している。条例で市の「自助力」や「共助力」を引き出していくことができるのではないか。

総務部長　防災条例の目的は「自助、共助、公助」の役割を明確にすることにある。作成の過程は市民参加や協働が基本である。地域防災計画との関連や他市の状況を検証し、調査研究していく。

フィルム・コミッションの可能性は

議員　フィルム・コミッションとは、映画やドラマなどの撮影場所の誘致や支援をする公的な機関である。

市内の撮影資源は多くある。戸田公園漕艇場、彩湖・道満グリーンパーク、戸田競艇、花火大会、荒川河川敷、さきたま大橋、市役所南通り、文化会館前、スポーツセンター、私の地元の美女木八幡神社等。シティセールスの観点からも、立ち上げの可能性を伺う。

▲ボートコースなど市が誇る景観を映画の世界に

政策秘書室長　現在、戸田市政策研究所において21年度までの研究テーマとして「戸田市におけるシティセールスの可能性と成功する要件について」に取り組んでいる。フィルム・コミッションは対外的に本市をアピールする有効な手段であることから、設立の可能性を含めて今後研究したい。

そこがききたい

冨岡　節子 議員

高齢者食事サービスの情報は浸透しているか

「引き続き周知・啓発に努めていく」

議員　本市は、65歳以上の方が1万5940人。うち一人でお住まいの方は2286人（平成17年）となっており、高齢化率は大変な速さで進んでいる。しかし、高齢者食事サービスの利用者は、月平均200人、8・7％であり、利用が少ないのではないか。情報の伝達方法に問題があるのではないか。

福祉部長　市では、ケアマネージャー等に対し、機会あるごとに情報提供を行っている。福祉サービスガイドブックの配付、ホームページ等でも内容を掲載している。

議員　情報を自身で得るという行為は、年齢とともに困難となる。よって、情報を提供する側がより細やかな伝達方法を検討してもらいたい。

◀バランスの良い食事に感謝の笑顔

歩行喫煙、ポイ捨てをなくすためには

議員　昨年6月より、市の条例が施行されたにもかかわらず、いまだに歩行喫煙等を見かけるが、大変危険で、また迷惑な行為である。条例を徹底することはできないか。

市民生活部長　本条例は全体的なマナー向上を図っており、取り締まりを目的とするものではない。広報、ホームページへの掲載はもちろん、市内の3駅への横断幕の掲示等で条例施行の周知徹底を図っている。

議員　埼京線利用ばかりでなく、京浜東北線利用、また、駅を利用しない市民も多く、条例の認知度は大変低いものである。より多くの人へ情報を伝え、マナー向上と安全なまちづくりに努めてもらいたい。

議会日誌

1月

◎15日　議会だより編集委員会
◎18日　戸田市議会議員一般選挙告示
◎21日　沖縄県糸満市議会行政視察来庁
◎22日　茨城県鉾田市議会行政視察来庁
◎25日　戸田市議会議員一般選挙投票

2月

◎ 6日　2月臨時会　本会議（正副議長の選挙）
◎ 8日　県市議会議長会正副議長研修会
◎ 9日　2月臨時会　本会議（各種選挙）
◎12日　蕨戸田衛生センター組合議会運営委員会
◎13日　戸田競艇組合議会運営委員会
◎16日　一区議長会議員研修会／議会運営委員会
◎17日　議会だより編集委員会
◎18日　奈良県大和郡山市議会行政視察来庁
◎19日　戸田競艇組合議会
◎23日　3月定例会　本会議（開会、議案上程、総括説明、詳細説明）
◎25日　戸田競艇組合議会
◎26日　蕨戸田衛生センター組合議会

3月

◎ 4日　本会議（総括質問）／議会だより編集委員会
◎ 5日　本会議（質疑・請願の提出・委員会付託）／委員長会議／議会運営委員会
◎ 6日　本会議（一般質問）
◎ 9日　本会議（一般質問）
◎10日　本会議（一般質問）／議会運営委員会
◎11日　常任委員会（総務、文教・建設、健康福祉、市民生活）（～13日）
◎16日　特別委員会（交通対策、議会改革）／議会運営委員会
◎17日　健康福祉常任委員会
◎23日　本会議（委員長報告・質疑、討論・採決、閉会）
◎26日　戸田市議会議員研修会

～議会改革への取り組みなどに本市への視察が増加しています～

議員研修会報告

“質問は短く”“政策提言が議員の命”

平成21年3月26日、「議会運営の基礎知識と改革」をテーマに、元全国都道府県議長会議事調査部長の野村（のむら）　稔（みのる）先生をお招きし、研修会を開催しました。

野村先生は、長年にわたる経験から現場を知り尽くし、地方議会の助言者として活躍中です。諸外国の議会の状況、地方自治法改正の経緯など、著書の中では知ることのできない内容まで幅広い話を伺うことができました。

昭和22年の地方議会に関する自治法改正から始まり、二十代に自らに携わった自治法改正にひそむ秘蔵談など、冒頭から鋭いジャブの連続。続いて地方議会の根本に触れ、「議会と議員は存在するだけで価値がある」うーん、至言…。「議員の命は議案提案ではなく、政策提言にある」……事務局体制から、なるほどとうなづく面々。そして、「議員は話せばわかる人、互譲の精神で運営を」と耳に痛いストレートがヒット。最後に、「質問は短く、答弁を長く」と、見事にアッパーをちょうだいしました。

同氏の歯に衣を着せぬ語り口から伝わる地方議会への愛情あふれる言葉は、これからの地方議会が果たす役割を再認識させるものでありました。

6月 定例会の予定

2日　本会議　開会、議案上程、総括説明、詳細説明
8日　本会議　質疑、請願の提出、委員会付託
9日～11日　本会議　一般質問
12日　常任委員会　総務、文教・建設、健康福祉、市民生活
15日　特別委員会　交通対策、議会改革
19日　本会議　委員長報告並びに質疑、討論・採決、閉会

※日程は変更になる場合があります。定例会の一週間前に議会運営委員会で内定しますので、議会事務局にお問い合わせください。また、議会ホームページでもお知らせしていますので、ご覧ください。

議会事務局☎441・1800（内線523・524・543）

議員の寄附禁止のルール

贈らない　議員がイベント等で寄附をすること。

求めない　有権者や町会等各種団体が議員に寄附を要求すること。

受取らない　議員が寄附を持ってきても有権者や町会等各種団体は受け取らないこと。

ほっとコーナー

このコーナーに衣替えして、はや3年目に突入しました。／議会の新しい息づかいが伝われば と思います。

谷中の公園墓地を訪れた時のこと、買い物袋を持ったおばさんが話しかけてきて、どんどん案内してくれた。最初はとまどったが、おかげで歴史ある墓地と桜の美しさに感動！もう一つ、忘れかけていたホットな人間関係にも感動！　（酒）

先日、中学校の卒業式に出席し、感謝、思いやり、おかげさま、出会い、目標、信念等の言葉。希望に満ちた一人一人の表情を見ました。心がいやされました！ありがとう。　（す）

ただいま春爛漫。私に初孫が誕生するんですよ。今から楽しみで、楽しみで、いろいろ想像する日々を送っています。今は子育て支援が充実し、育てやすい社会になりつつあるから、いいですよね。私の時は……。　（㋮）

春は、出会い、別れのシーズンでもある。息子が卒業ということもあり、今さらだが一期一会、別れがあり、新たな出会いがあり、その一瞬一瞬の時間を無駄にすることなく、精一杯輝き、大切に生きたいと思います。　（あ）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）

本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。